

エンジニアリングデザインコース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

エンジニアリングデザインコースは7つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

【機械系】

機械系では、次のような人材を求めます。

- ・ 機械工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・ 機械工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・ 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・ 機械工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・ 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

【システム制御系】

システム制御系では、次のような人材を求めます。

- ・ システム制御工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・ システム制御工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・ 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・ システム制御工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・ 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

【情報通信系】

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- ・ 情報通信工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・ 情報通信工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・ 国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・ 情報通信工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・ 高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

エンジニアリングデザインコース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

【経営工学系】

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- ・経営工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・経営工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・経営工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

【建築学系】

建築学系では、次のような人材を求めます。

- ・建築学において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有すること
- ・多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができること
- ・未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有すること
- ・建築を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有すること
- ・国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有していること

【土木・環境工学系】

土木・環境工学系では、次のような方々を求めます。

- ・理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができること
- ・土木技術や社会基盤、都市、環境に関連する幅広い知識を有し、自ら学び研究する意欲を有すること
- ・国際的に通用する研究開発を進めるために必要な語学力を有していること
- ・土木・環境工学分野における高度な技術者・研究者として、国際社会に役立つ技術の発展に貢献する高い志を有すること

【融合理工学系】

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- ・理工系基礎学力ならびに人文社会科学の知識を有し、それらを活用した実践的な問題解決力を有していること。
- ・修得した専門知識に新たな知見を加えて自在に活用できること。
- ・国際的なコミュニケーション力、協働力の十分な基礎ができていること。
- ・高い志を持ち、知のフロンティアを自ら開拓し、国際的に通用する科学・技術の専門家リーダーとして人類と社会の持続的発展に貢献する強い意志を有していること

エンジニアリングデザインコース（博士後期課程）

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

エンジニアリングデザインコースは7つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

【機械系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、機械系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【システム制御系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、システム制御系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、システム制御系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【情報通信系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、情報通信系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、情報通信系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【経営工学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、経営工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、経営工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【建築学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、建築学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、建築学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【土木・環境工学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、土木・環境工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、土木・環境工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

【融合理工学系】

学位論文（またはこれに代わる研究業績）による研究能力に関わる試問、融合理工学系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

エンジニアリングデザインコース（博士後期課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

A) 教授法の学修

教員の指導の下、修士学生や学士課程学生のプロジェクトならびに PBL 科目に参加し、メンタリングやファシリテーションを含む教授法について学修する

B) PBL（Problem Based Learning）による実践的学修

キャンパス内外（国外を推奨）での実践を通してエンジニアリングデザインを研究する

C) エンジニアリングデザインの基盤的な学修

エンジニアリングデザインの教育研究に求められる教養的な知識を学修する

D) 博士論文研究にかかる学修

博士論文研究に則したセミナー・論文講読等を通じて、博士論文研究に関する学修を行う

ディグリー・ポリシー（修得する力）

本コースでは、次のような力を修士課程より高い基準で修得することができる。

- ・ 科学と技術が与える様々な影響の重要性を認識し、倫理観をもって未解決の課題に挑戦する力
- ・ 文化の違いや多様な価値観を許容し、互いに協力しながらチームとして活動できる能力
- ・ 国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要なコミュニケーション力、マネジメント力
- ・ 俯瞰的な視点から新たな方向性を見出すことのできる発想力・創造力
- ・ 研究と実践を通じてディシプリンとしてのエンジニアリングデザインをデザインする能力